

## **IPA**

# **国際標準文書フォーマットの日本語機能拡張 操作手順書\_縦書き時における振り仮名**

**Sun** プロジェクト番号 : **20016123**  
**Sun** ドキュメント番号: **20016123-DL18-01**  
バージョン: **1.0C**  
作成者: **鎌滝雅久**  
作成日: **2008/02/24**

**Sun Confidential**

© サン・マイクロシステムズ株式会社, 2008

## 目次

0. ドキュメント管理.....	3
0.1. 改訂履歴.....	3
1. 縦書き時における振り仮名.....	4
1.1. はじめに.....	4
1.2. 操作手順.....	4
1.2.1. Writer の縦書き機能.....	4
1.2.2. Writer の行数と文字数機能.....	4
1.2.3. 「標準の文字数を使う」設定時の振り仮名.....	5
1.2.4. 「行数と文字数を指定する」設定時の振り仮名.....	7
1.2.5. 「行数だけを指定する」設定時の振り仮名.....	8
1.2.6. 「行数と文字間を指定する」設定時の振り仮名.....	9

## 0. ドキュメント管理

### 0.1. 改訂履歴

バージョン	作成者	レビュー	改訂内容	改訂日
1.0A	鎌滝		1.2.4.~1.2.6.までの画像は差し替え予定	2008/02/21
1.0B	鎌滝		上記修正	2008/02/22
1.0D	鎌滝		表1が想定のページからずれていた部分修正	2008/02/24

## 1. 縦書き時における振り仮名

### 1.1. はじめに

現在リリースされている OpenOffice.org の Writer では、縦書き時、振り仮名を設定した文字列が左にずれる問題があり、本開発で改善した。ここではその改善された機能の操作手順を記述する。

### 1.2. 操作手順

#### 1.2.1. Writer の縦書き機能

メニューの [書式] - [ページ] でダイアログを表示し、図 1 のように「ページ」タブの「文字の方向」欄を「右から左へ（縦書き）」（デフォルトは「左から右へ（横書き）」）に変更すると縦書きになる。



図 1: Writer のページスタイルでは、「右から左へ（縦書き）」を選ぶ

#### 1.2.2. Writer の行数と文字数機能

Writer のページ設定には、Word とほぼ同様の 1 ページの行数と文字数を設定する機能が備わっている。ただし、機能に違いがあることは本開発の『調査報告書\_「文字数と行数を指定する」設定時レイアウト崩れの解消.odt』で述べたとおりである。

本開発の結果、Word の「文字数と行数を指定する」とほぼ互換性のある「行数と文字間を指定する」機能が、次ページの図 2 のように Writer の「行数と文字数」機能に加わった。Word と Writer の機能の関係は表 1 のようになる。

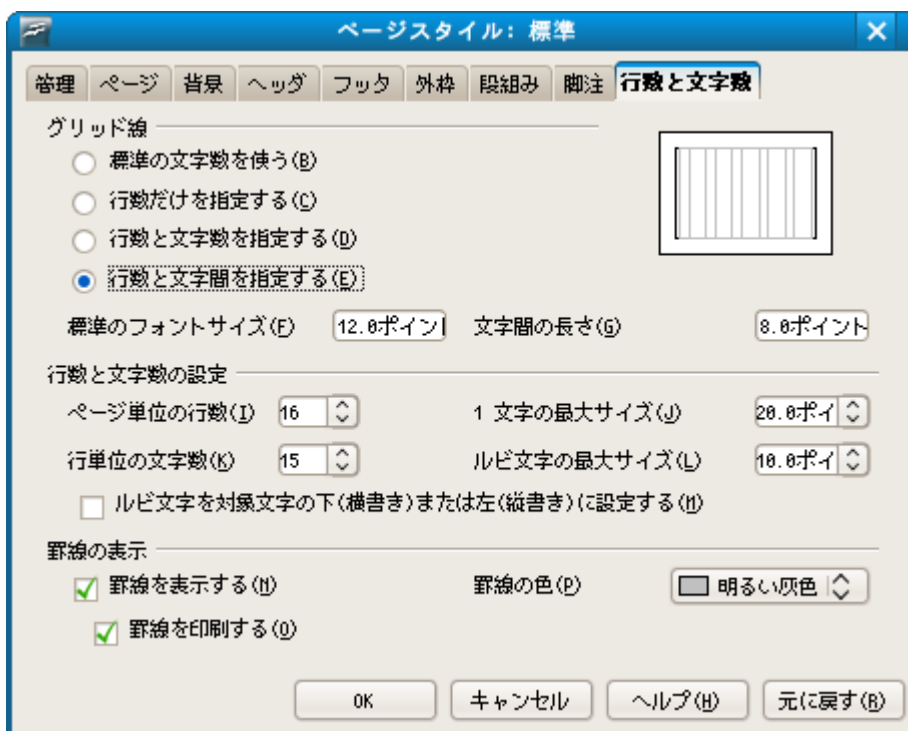


図 2:本開発で加わった新機能「行数と文字間を指定する」項目

Word の選択肢	Writer の選択肢	Word 形式で保存した際の選択肢
標準の文字数を使う	→ 標準の文字数を使う	→ 標準の文字数を使う
行数だけを指定する	→ 行数だけを指定する	→ 行数だけを指定する
文字数と行数を指定する	→ 行数と文字間を指定する	→ 文字数と行数を指定する
原稿用紙の設定にする	→ 行数と文字数を指定する	→ 原稿用紙の設定にする

表 1:本開発による Word と Writer の「行数と文字数」機能の関係

### 1.2.3. 「標準の文字数を使う」設定時の振り仮名

Writer の振り仮名機能は、「標準の文字数を使う」とそれ以外では異なる動作をする。まずは、Writer のデフォルト設定である「標準の文字数を使う」設定の際の振り仮名の設定方法を紹介する。

振り仮名は設定したい文字列を選択し、メニューの [書式] - [ルビ] を選ぶ。表示されたルビダイアログの「対象文字」欄に設定したい文字列がセットされているので、次ページの図3のように「ルビ文字」欄に振り仮名をセットし、「適用」ボタンをクリックすれば設定したい文字列に振り仮名が振られる。ルビダイアログは表示しておいても、文字列の選択が行える。複数の文字列に振り仮名を振る場合は、ルビダイアログを表示したままで設定していくと便利だ。



図 3:設定したい振り仮名を「ルビ文字」欄にセットする

「行数と文字数」機能で「標準の文字数を使う」設定になっている場合、振り仮名を振ると図4のように振り仮名文字の分だけ行間が広がる。本開発では、振り仮名が振られた文字列だけ次ページの図5のように左にずれる現象を解消した。

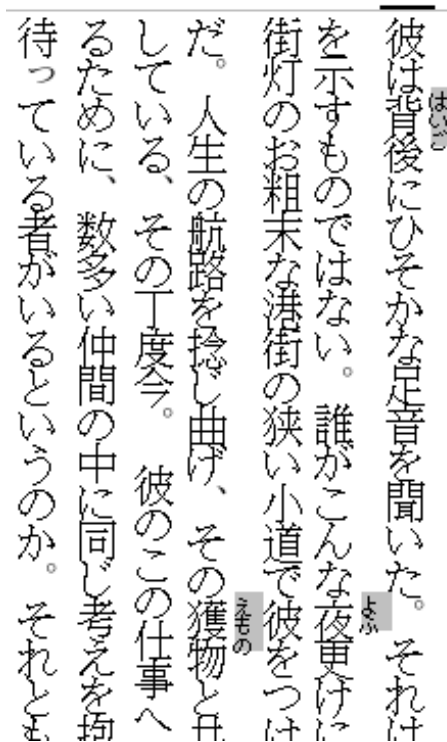


図 4:振り仮名が振られても文字列が左にずれることがない

彼は、背後<sup>はつち</sup>にひそかな足音を聞いた。それはあまり  
ものではない。誰がこんな夜更<sup>よる</sup>けに、しかもこ  
な港街の狭い小道で彼をつけて来るとい  
うのだ。  
じ曲げ、その獲物<sup>えもの</sup>と共に立ち去ろうとして  
いる。  
この仕事への恐れを和らげるために、数多い  
ゆえを抱き、彼を見守り、待っている者が  
いるとい

図 5: 振り仮名を振ると文字列がずれる現象

#### 1.2.4. 「行数と文字数を指定する」設定時の振り仮名

「行数と文字数」機能で「行数と文字数を指定する」設定を行った際の振り仮名は、現状の仕様で問題なく振り仮名が振られる。本開発の新機能が加わったバイナリでも次ページの図 6 のように振り仮名が振られた文字列がずれるということはない。

## 操作手順書\_縦書き時における振り仮名

そ の 獲 物 と 共 に 立 ち 去 ろ う	う の だ。 人 生 の 航 路 を 捻 じ	の 狭 い 小 道 で 彼 を つ け て 来	し か も こ ん な 街 灯 の お 粗 末	で は な い。 誰 が こ ん な 夜 更	そ れ は あ ま り 良 い 意 味 を 示	彼 は 背 後 に ひ そ か な 足 音 を
--	--	--	--	--	--	--

図 6: 「行数と文字数を指定する」設定時の振り仮名

## 1.2.5. 「行数だけを指定する」設定時の振り仮名

「行数と文字数」機能で「行数だけを指定する」設定を行った際の振り仮名は、現状の仕様で問題なく振り仮名が振られる。本開発の新機能が加わったバイナリでも図 7 のように振り仮名が振られた文字列がずれるということはない。

だ。人生の航路を捻じ曲げ、その獲物と共に	街灯のお粗末な濠街の狭い小道で彼をつけた。	を示すものではない。誰がこんな夜更けに、	彼は背後にひそかな足音を聞いた。それはま
----------------------	-----------------------	----------------------	----------------------

図 7: 「行数だけを指定する」設定時の振り仮名

### 1.2.6. 「行数と文字間を指定する」設定時の振り仮名

本開発によって、「行数と文字数」機能に加わった「行数と文字間を指定する」設定を行った場合でも問題なく振り仮名が振られる。図8のように振り仮名が振られた文字列がずれるということはない。

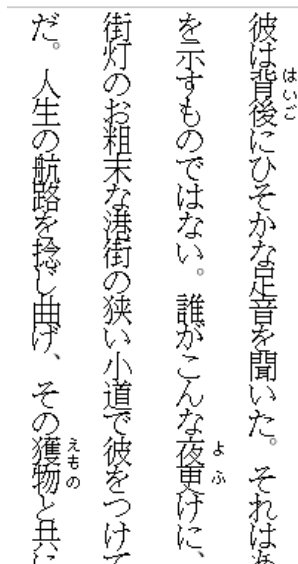


図 8: 「行数と文字間を指定する」設定時の振り仮名

